

第1回「森林セラピー研究会」設立準備会

1. 日時：平成16年1月26日（月） 15:00～17:00

2. 場所：帝国ホテル本館3階 舞の間

3. 設立準備会メンバー

秋山 智英	(社)国土緑化推進機構副理事長
井谷 徹	名古屋市立大学大学院医学研究科教授
今井 通子	東京女子医科大学泌尿器科非常勤講師
上原 巖	東海女子大学人間関係学部専任講師
宇田川僚一	日本アロマセラピー協会常任理事
太田 壽城	国立療養所中部病院院長
大槻幸一郎	千葉県副知事
鏡森 定信	富山医科薬科大学医学部教授
白川 太郎	京都大学大学院医学研究科教授
高田 敏明	弁護士・高田法律事務所
竹村 真一	東北芸術工科大学教授
鳥越けい子	聖心女子大学教授
古川 文隆	(財)日本ウェルネス協会専務理事
宮崎 良文	(独)森林総合研究所生理活性チーム長
村田 泰夫	朝日新聞社編集委員
村松 秀	NHK 衛星ハイビジョン局ディレクター
森本 兼曩	大阪大学大学院医学系研究科教授
芳村 真理	林政審議会委員・メディアパーソナリティー

[五十音順]

オブザーバー

厚生労働省健康局大臣官房参事官(健康担当)

農林水産省林野庁森林整備部長

〃 森林整備部研究普及課長

〃 森林整備部計画課森林総合利用・山村振興室長

事務局

森林セラピー協議会

(社)国土緑化推進機構

(社)全国林業改良普及協会

(社)全国森林レクリエーション協会

(財)日本緑化センター

4. 設立目的

「森林浴」という言葉の登場以来、森林のもつ快適増進効果が広く国民に定着してきた。近年では、森林のもつ「癒し効果」を活かして、健康増進やリハビリテーションに役立てる「森林療法」も注目を集めている。しかし、森林の快適性増進効果や療法効果については医学的な解明が進んでおらず、療法メニューも確立されていないのが現状である。

森林療法の効能をさらに向上させ、国民に普及するためには、森林療法のもたらす生理的・心理的効果を医学的に検証し、それに基づく効果的な療法メニューや森林療法を可能にする最適森林環境を創出することが必要である。また、森林療法を支える専門的な資格制度のほか、産学官連携による森林療法関連品目にかかる基礎的な分野の共同研究を行うことも課題となる。このため、「森林セラピー研究会」を設立し、これらの課題について検討することにより、森林療法の総合的な導入と幅広い定着を図ることとする。

5. 活動内容

森林療法にかかる医療的課題の解明

森林の構成要素（香り、音、風景など）が、人間（子ども、健常者、高齢者、ハンディキャップ者）の生理的、心理的効果に及ぼす影響（室内・野外フィールド別）を医学的に検証・解明する。それらを基に、効果的な森林療法メニューと最適森林環境を創出する。

産学官連携による森林療法関連品目の基礎的研究

森林療法効果が得られる関連品目について、基礎的な分野の共同研究を行う。

- 例・森林の音や映像を主体としたCD、DVD
- ・森林の香り成分を含んだ食品（サプリメント等）
- ・木材が放つ触感・温感をもつ生活関連品目

森林療法資格等の検討

森林療法の国民への普及や効果的な療法を実践・補助する「森林療法資格」等の検討を行う。また、将来的な目標として、国民による自然療法の利活用を推進するため、健康保険制度の適用可能性等について検討する。

6. 今後のスケジュール

1) 第1回「森林セラピー研究会」設立準備会

日程：平成16年1月26日（月）（於：帝国ホテル本館3階 舞の間）

内容：設立準備会メンバーによる基本方針等の検討

2) 第2回「森林セラピー研究会」設立準備会

日程：平成16年3月中・下旬

内容：公開シンポジウム

設立発起人会

第1回総会